

# 新興国経済の展望

～順風は続くのか？～

大和総研

児玉 卓

# ポイント

## 1. 新興国経済の好調の背景

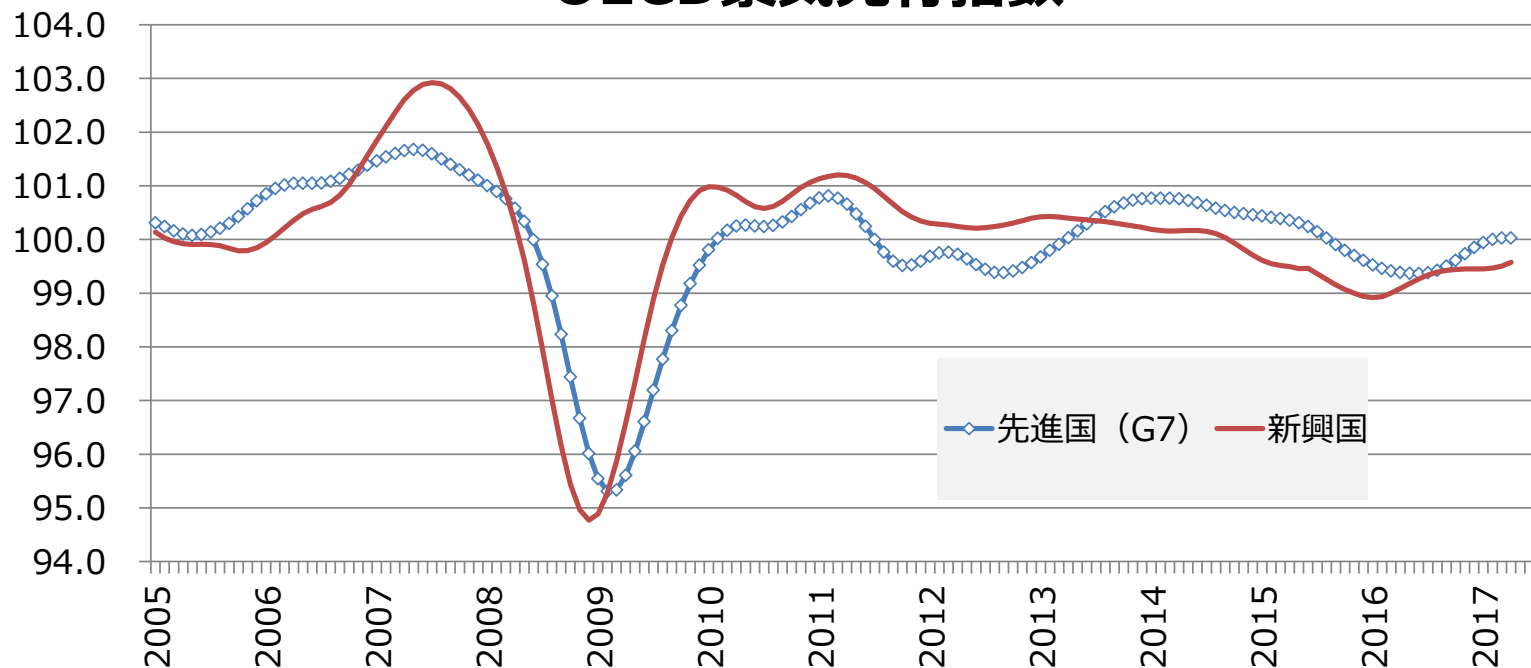
- ① 先進国経済の拡大持続
- ② 資源価格の落ち着き
- ③ 中国経済の底打ち

## 2. 当面の焦点は米国経済の持続力か

- ① ただし欧州景気は米国よりも若く世界経済を支える
- ② 順風は続くも風力は低下の可能性
- ③ 新興各国の個別の優劣が問われる

# 新興国経済の回復

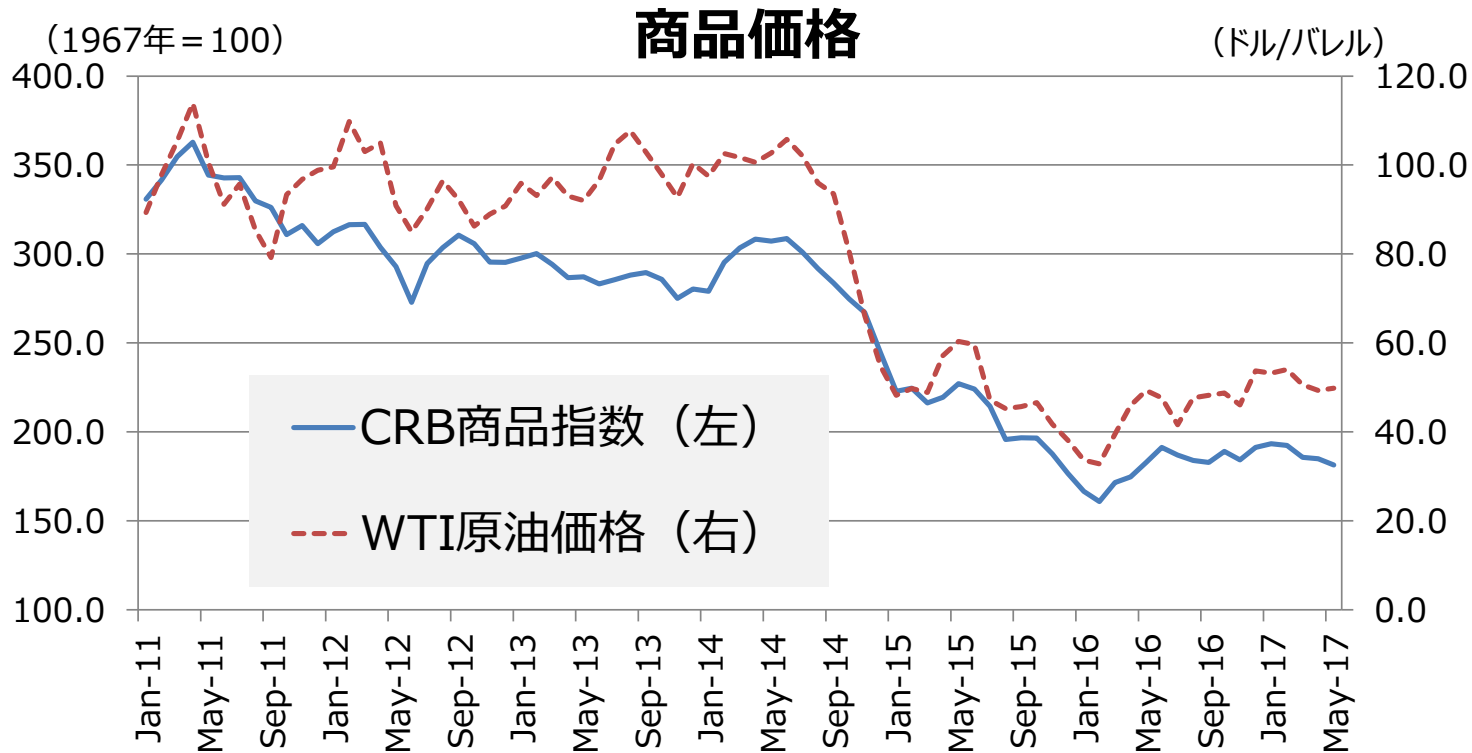
## OECD景気先行指数



(注) 新興国はブラジル、中国、インド、インドネシア、ロシア、南アの名目GDP加重平均

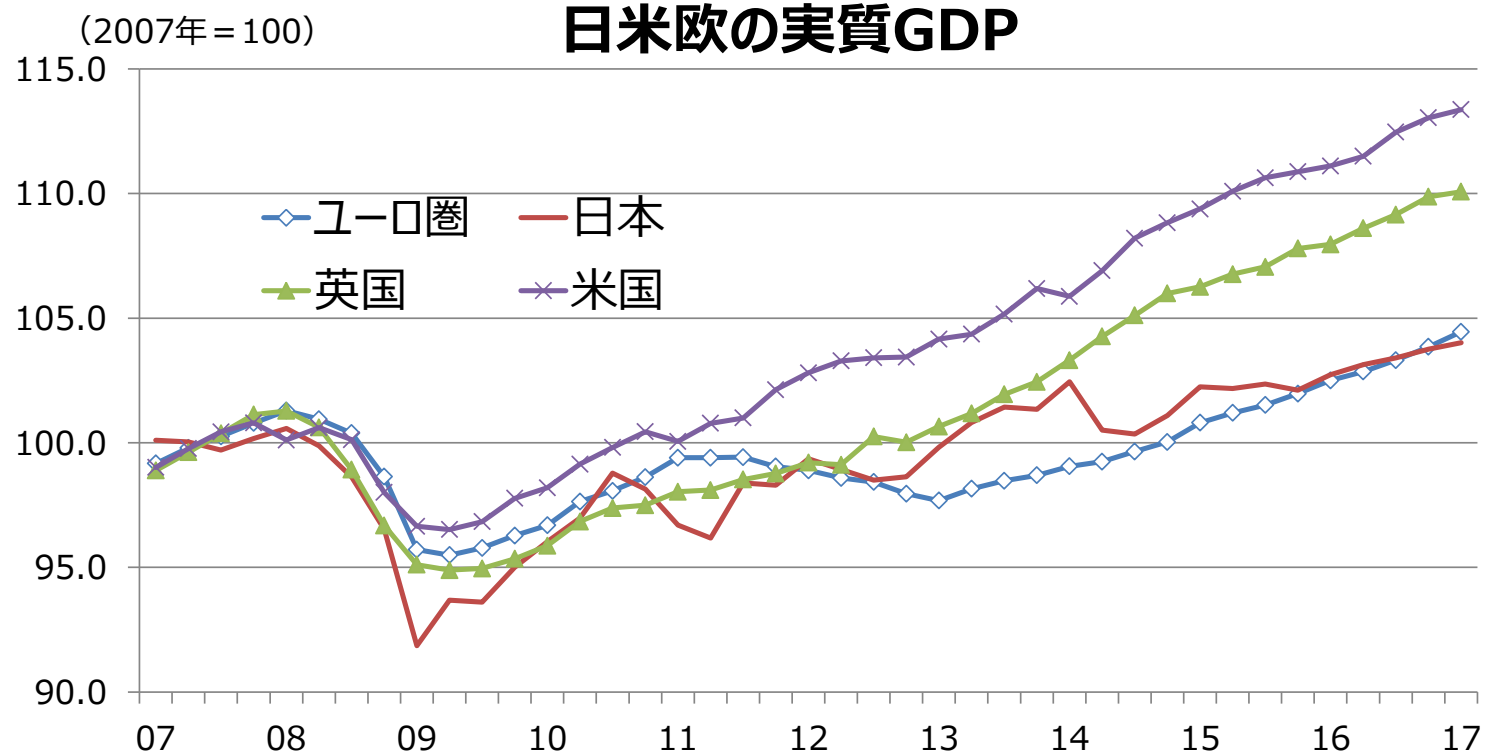
(出所) OECDより大和総研作成

# 資源・商品価格は安定



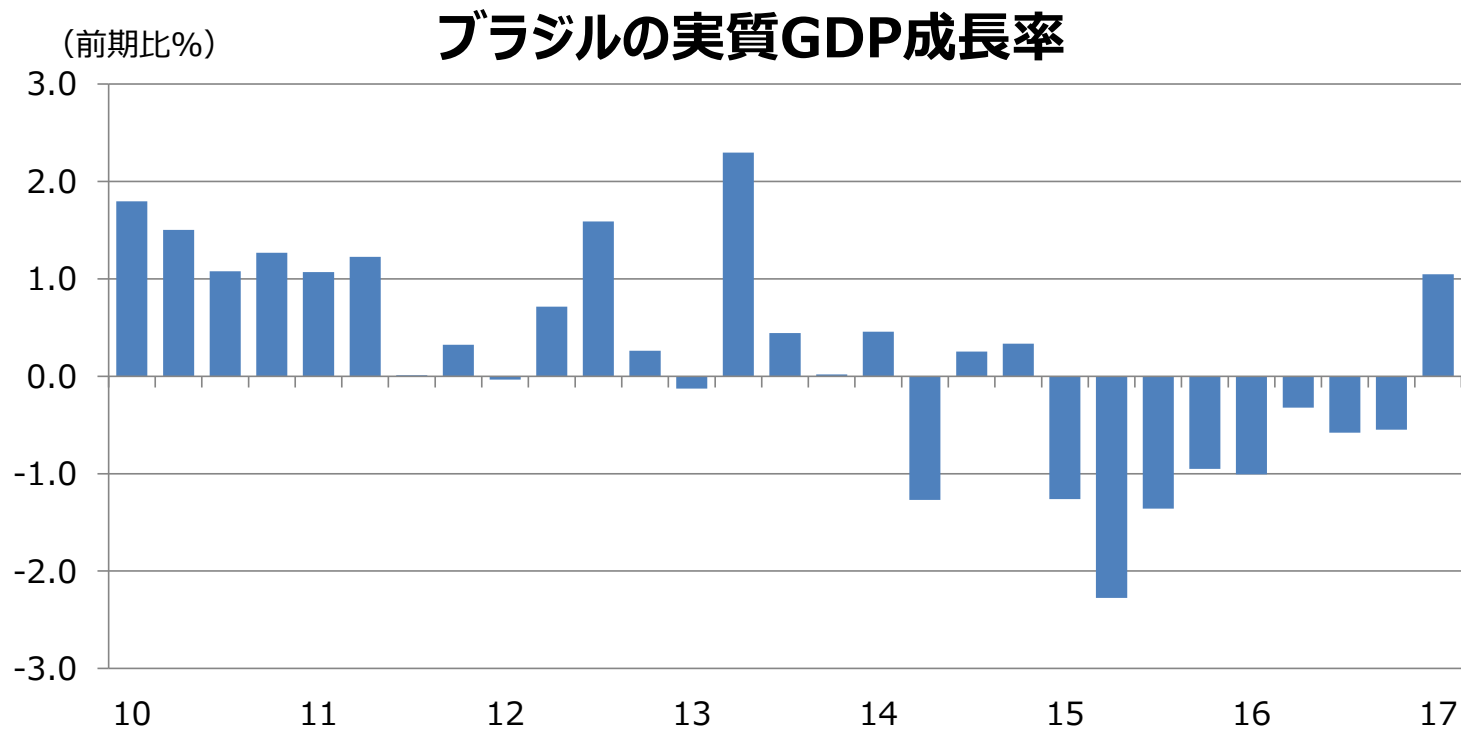
(出所) Haver Analyticsより大和総研作成

# 先進国の景気拡大という順風は続くか



(出所) Haver Analyticsより大和総研作成

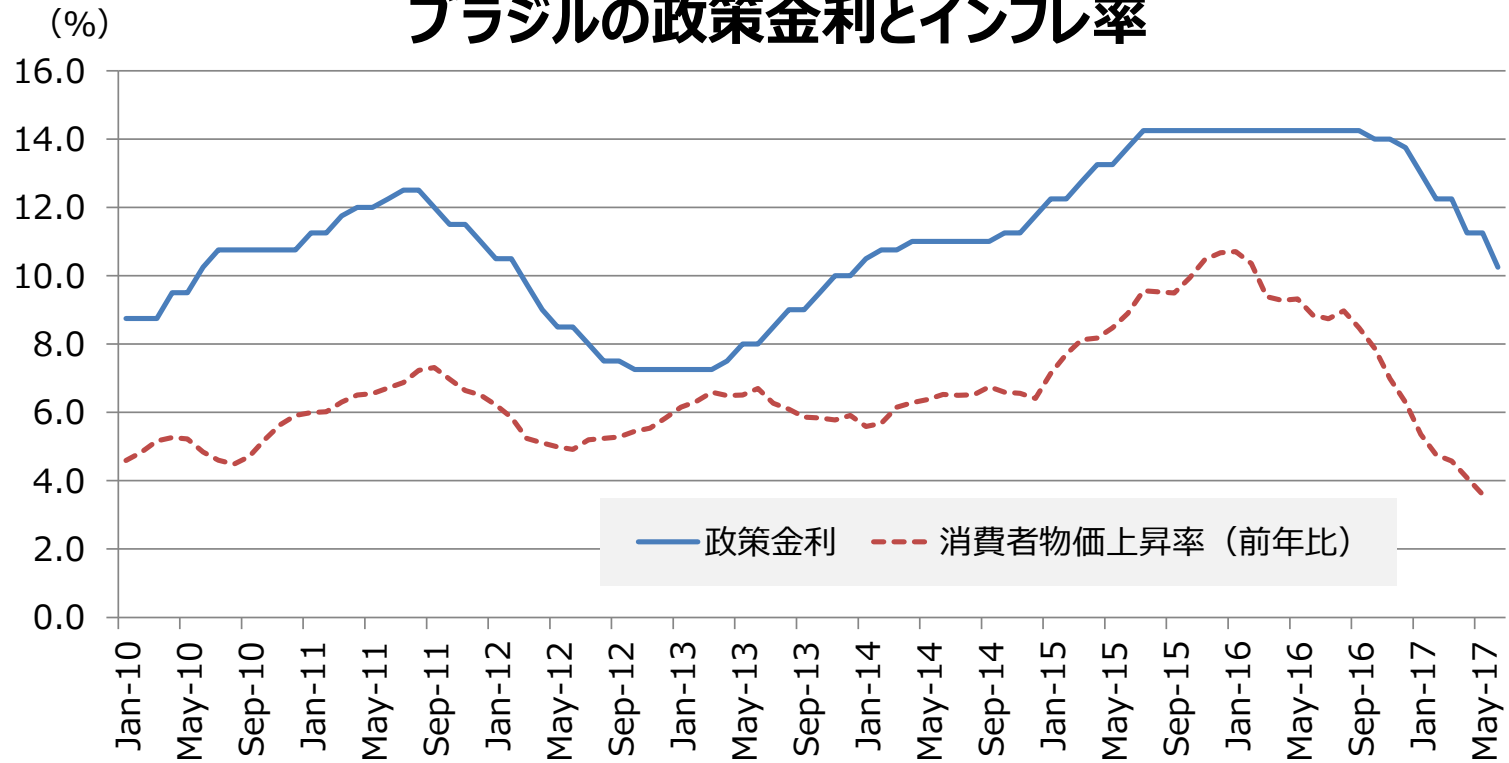
# ブラジルのケース：外部環境の後押しでトンネル脱出



(出所) Haver Analyticsより大和総研作成

# 良好な外部環境あつての金利引き下げ

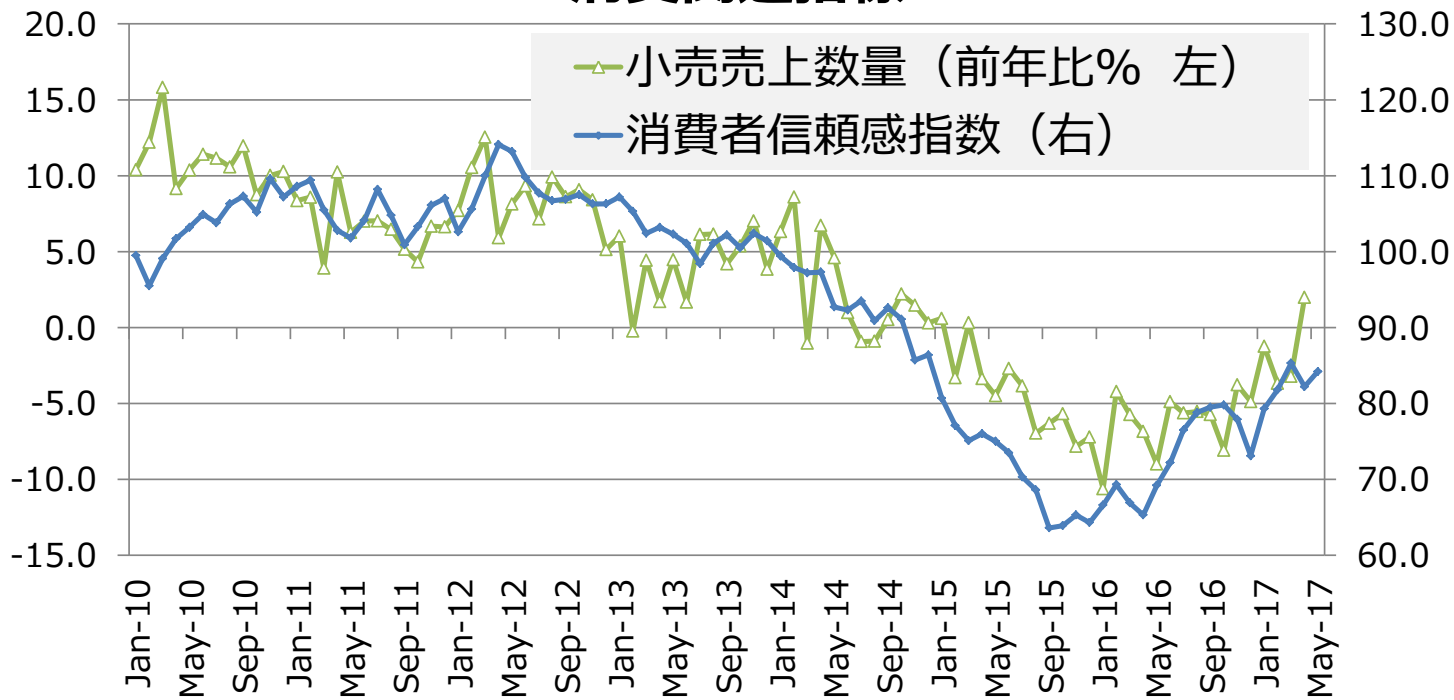
## ブラジルの政策金利とインフレ率



(出所) Haver Analyticsより大和総研作成

# インフレ率低下、金利引き下げの効果

## 消費関連指標



(出所) Haver Analyticsより大和総研作成



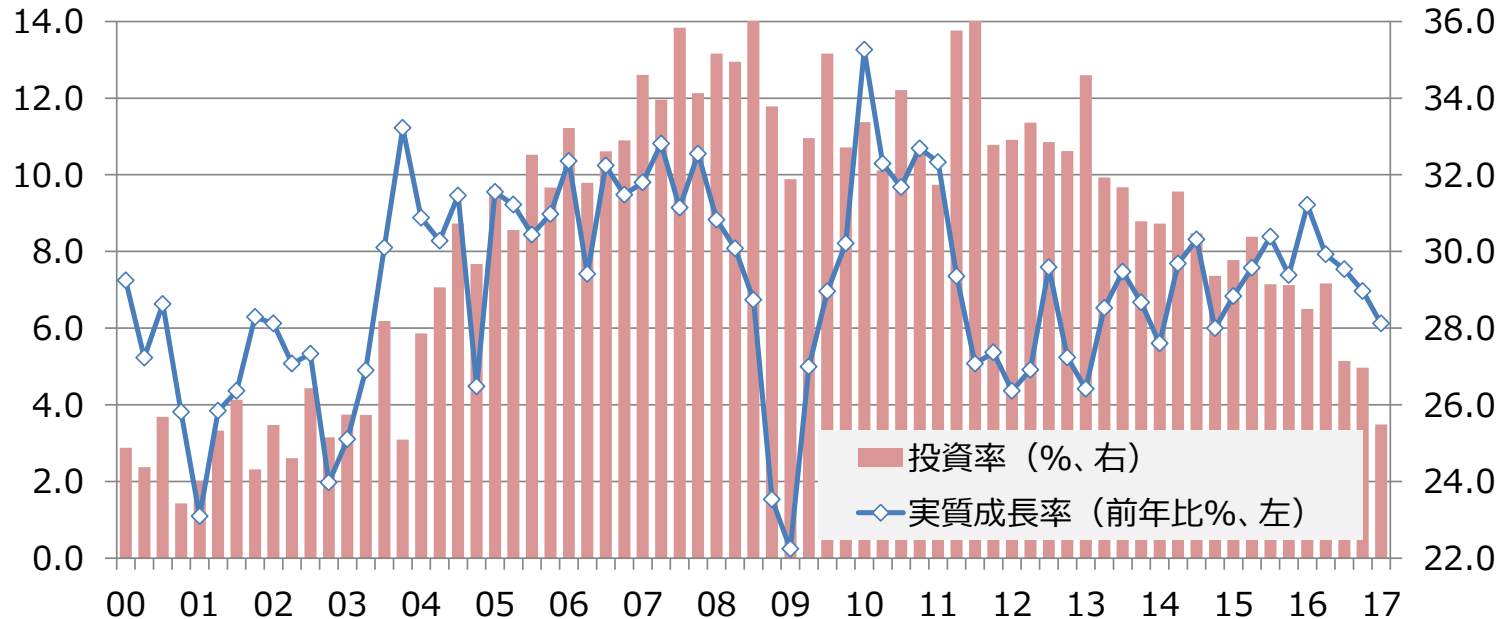
# ブラジルを襲う政治スキャンダル

## テメル大統領の汚職疑惑

- 弾劾・失職の可能性も
- 同大統領が進めてきた財政・社会保障改革に暗雲
- 同国経済に対する市場の疑念の高まり
- 金利引き下げなどのサイクルも終焉？
- 外部環境頼みの経済の弱点
- 早期の政権交代・後継者による改革継続がベストシナリオか

# インドの成長パターン

## インドの実質GDP成長率と投資率



(注) 投資率は固定資本形成のGDP比 (名目)

(出所) Haver Analyticsより大和総研作成

# モディノミクスのエッセンス

## “Make in India”

- ① 製造業振興→雇用拡大、経済キャパシティ増強
- ② そのためには、投資環境の改善が不可欠

## 改革のメニュー

- ① 外国資本規制の緩和
- ② 倒産法制の整備
- ③ 財・サービス税の導入

外部環境の変調に負けないファンダメンタルズの強化